

団体名：特定非営利活動法人 子育てネットワーク ゆっくっく
事業・活動名：一人ひとりの力で子どもと親を大切にしたい街に！
使途&助成金額：講演会用チラシ印刷製本費、謝金（外部講師） 175,000 円

【日頃の主な活動】

認可外保育事業や、子育て支援活動を行っています。

- ・ ゆっくっくサロン「DISUKI」・・・妊娠中から就園前の親子の交流・遊び場を提供
- ・ 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート・ゆっくっく」・・・6歳未満の子どものご家庭にボランティアが週に1回訪問し、家事・育児の支援
- ・ 子ども食堂「おかわり」ゆっくっく・・・「未来に生きる子どもたちを、地域みんなで見守り育てよう」をテーマに掲げ、毎月1回開催

【助成金を使った講演会概要】

以下の講座を開催する費用に活用されました。

- ・ 講座名：「SDGs ジェンダー教育って？女でしょ？～しなさいよと言われてたくないよね」

講師：木野麗子氏

- ・ 講座名：「気になる親子がいたらどうする？通報の前に出来ることは何か」

講師：末松渉氏

多くの方に参加してもらうために、チラシを地域の公民館、保健所、学校関係に配布し、連続講座として開催しました。各回とも子育て中の若い方から学校関係者、地域の民生委員など、30名を超える方が参加しました。

【講演会参加者の声】

- ・ 自分らしく生きるために、ジェンダー教育は大切だと思った。
- ・ 自分では気を付けているつもりでも、女性を差別する言葉を何気なく使っていることに気づかされた。
- ・ もっと早くに学びたかった。

講師からは「気づいた時に変えられるチャンス、その時は早い、遅いはない」とのコメントがありました。

【今回の助成を受けて代表板垣さんの言葉】

NPO 法人だと資金面で限界がある、エコロ福祉基金を助成してもらうことで、このような講演会を開催できました。組合員の皆さまには非常に感謝しています。

【感想】

代表の板垣さんは、保育士としてお勤めになった後「子育て中の母たちが自由に行き来でき、安心できる場所を作りたい」と思い、2002年に子育て支援事業を設立しました。

「あの時のあの言葉があったから、今の私がいるんです！」神様からのご褒美のような言葉を利用者の方から時折頂き「この事業をやっているのが本当に良かった」と思うそうです。板垣さんの言葉に長年やっているからこそその重みを感じました。子育てに悩み、迷ったときには、温かく見守り助けてくれる支援を恥ずかしがったり、ためらわず受けて欲しいと願わずにはられません。

福祉委員 古川由美子

